

【八十二地域産業グロースサポートファンド】 株式会社ウイングビジョンに対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社が、八十二キャピタル株式会社と共同で運営する「八十二地域産業グロースサポート投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」という。）」は、本日、株式会社ウイングビジョン（以下「ウイングビジョン」という。）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。なお、本件は、本ファンドの第4号投資案件となります。

ウイングビジョンは、長野県安曇野市に本社を構え、電子部品の実装工程等における画像検査用のソフトウェア及び装置の開発・設計・製造を行っています。ウイングビジョンが独自開発した特許技術である「メッシュマッチング」を搭載した画像検査装置では、煩雑な初期設定がスキルレスで行えることに加え、撮影画像全体から小さな違いを瞬時に検出することが可能です。また、実装部品の輪郭の形や位置ズレ量だけでなく、明るさや色の差も識別出来るため、幅広い用途への応用が期待できます。

ウイングビジョンは、この特許技術を主軸として国内ものづくりにおける付加価値向上を目指しています。

本件は、ウイングビジョンの成長を支援することによって、長野県内の人材への就業機会の提供や、長野県内産業の成長による地域経済活性化への貢献が期待できることから、同社に対してエンジニア等の人材採用費を含む運転資金を支援いたします。

本ファンドは、今後も長野県の地域産業を構成する個々の企業への成長資金や新規事業開拓資金の供給を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の増加に貢献してまいります。

【投資先の概要】

企業名	株式会社ウイングビジョン
本社所在地	長野県安曇野市穂高
設立年月日	2018(平成30)年6月
資本金	800万円
代表者	河原 盛人
事業内容	電子部品の実装工程等における外観検査装置の開発・製造

<製品ラインナップ>

実装基板外観検査装置
WV-1806Q-330



【主な特徴】

- 1800万画素の超高解像度カメラ
4台搭載
- 駆動部なしの軽量コンパクト筐体
- 実装に関する高度なスキルが不要の簡単検査設定

多目的小型外観検査装置
WV-1806Q-200



【主な特徴】

- 検査設定が簡単
- 少量多品種生産にも適応
- 広範囲一括撮影で高速検査、高低差のある部品でもインフォーカス

【八十二地域産業グロースサポートファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/15.html> 機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590